

熊本県知事 蒲島郁夫 様

立野ダムによらない自然と生活を守る会

代表 中島康

ダムによらない治水・利水を考える県議の会

代表 西 聖一

立野ダムによらない白川の治水を考える熊本市議の会

代表 田上辰也

代表連絡先 熊本市西区島崎4丁目5-13 中島康 電話 090-2505-3880

立野峡谷の土砂崩壊の対策等に関する質問状

昨年の熊本地震で、立野ダム予定地周辺の両岸は大きく崩壊しました。熊本県土木部砂防課作成の資料「平成28年熊本地震 土砂災害の被災状況について【被害概要版】」5ページの「阿蘇地域の地質特性と熊本地震による土砂災害の崩壊特性」に、「今後の危険度リスク推移」として「斜面の途中や溪流上部に多く堆積した土砂や倒木及び崩壊地周辺の亀裂により、飛躍的に土砂災害危険度リスクが増大した」との記述があります。代表的な箇所として、立野阿蘇大橋付近との記述もあります。

下記写真を見ても、立野峡谷、特に立野ダム水没予定地周辺は、大部分が崩壊しています。そこで下記3点について質問します。3月31日までのご回答をお願いいたします。

記

1. 立野峡谷全体の崩壊土砂や倒木、流木の搬出をどのように計画しているのか。
2. 立野峡谷全体の崩壊地や周辺の亀裂等について、土砂災害対策をどのように計画しているのか。
3. 上記2点について、どの程度の工期、予算を考えているのか。

以上



両岸の大半が崩壊した立野ダム水没予定地周辺(パスコホームページの写真に加筆)